

女性入院患者の夫に対する役割葛藤（第2報）

高知県看護協会看護研究エキスパート育成研修 第1グループ

看護部 ○公文 典子 池上 直子

いずみの病院 久保田美香子

本山町立国保嶺北中央病院 式地 ちづこ

I. はじめに

わが国における夫婦の分業のあり方も大きく変わり始めているが、男性の家庭内の役割遂行、家事や育児に参与する程度はなかなか向上しない現状がある¹⁾。家事の役割の多くを担っている妻の入院は家族機能を不安定なものにし、患者自身の病者役割移行を阻む誘因になるとも考えられる。妻が病者役割を遂行しなければならなくなった状況で、残された家族はどのような調整を行い、役割を遂行しているのだろうか。妻の入院によって生じるであろう夫に対する役割葛藤の内容とその影響要因を明らかにすることは、患者家族に対して必要とされる役割調整など、適切なアプローチが可能となり、患者やその家族にとって満足いく入院生活が行われるような質の高い看護提供につながるのではないかと考えた。そこで私達は、妻または母親役割を持つ女性入院患者（以下、女性入院患者）の夫に対する役割葛藤の内容とその影響要因を明らかにすることを目的に、今回は入院後の夫に対する役割葛藤の内容と程度の実態を報告する。

II. 用語の定義

役割期待：他者に役割の遂行を期待すること

役割葛藤：物事に矛盾や対立がある結果、役割遂行者が内的葛藤を伴う調整をしなければならない状態。本研究では役割期待と役割遂行のずれとする。

III. 研究目的

女性入院患者の、夫に対する役割葛藤の内容と程度の実態を明らかにする。

IV. 研究方法

1. 対象者

アンケート記入が可能と思われる1週間以上入院している20～65歳以下の女性入院患者86名。

2. 調査期間

平成13年8月20日～9月20日

3. データ収集方法

本研究の趣旨と目的を説明し、承認を得られた者にアンケート用紙を配布した。質問紙は無記名とし、所定の封筒に入れ封印したものを回収した。

4. 質問紙の作成

アンケート内容は家族役割、夫婦役割等の概念を中心に文献を検索し、扶養役割4項目、家事役割11項目、レクリエーション役割4項目、親族関係役割3項目、情緒的治療役割5項目、入院による役割7項目、子供（本研究では18歳以下）の社会化役割（養育）11項目について質問紙を作成した。それを基に、入院前の夫の役割遂行・入院後の夫に対する役割の期待と遂行をそれぞれ5段階のスケールで表し、遂行率（期待率）が高いほど、点数が高くなるように設定した。

5. データ分析方法

統計ソフトSPSSを使用し、符号検定を行った。入院前の遂行と期待における、期待>入院前の遂行を正、期待<入院前の遂行を負、期待=入院前の遂行を同順位で表した。入院後の期待と遂行の実際における、遂行の実際>期待を正、遂行の実際<期待を負、遂行の実際=期待を同順位で表した。

V. 結果

1. アンケート配布数は86名で、回収数は84名(回収率97.5%)。うち有効回答数は81名であった。

2. 結果 (表1)

1) 扶養役割: 4項目

入院前の遂行と期待では、全ての項目において (p<0.001) 正の有意差があった。期待と遂行の実際では、全ての項目において有意差がなかった。

2) 家事役割: 11項目

入院前の遂行と期待では、全ての項目において (p<0.001) 正の有意差があった。期待と遂行の実際では、トイレの掃除をする・風呂の掃除をする (p<0.001) 家の周りの掃除をする (p<0.05) で負の有意差があった。

3) レクリエーション役割: 4項目

入院前の遂行と期待では、余暇の計画を立てる・余暇について話し合う (p<0.05) で正の有意差があった。期待と遂行の実際では、余暇を過ごす (p<0.05)、余暇について話し合う (p<0.001)、余暇の計画を立てる (p<0.001) で負の有意差があった。

4) 親族役割: 3項目

入院前の遂行と期待では、近所付き合いをする (p<0.05) で正の有意差があった。期待と遂行の実際では、近所付き合いをする (p<0.05) で負の有意差があった。

表1 夫の夫婦役割遂行への期待と実際

夫婦の役割	夫婦の役割項目	入院前の役割遂行と期待				入院後の役割期待と遂行 (実際)				
		負	正	同順位	有意差	負	正	同順位	N	有意差
扶養役割	家族の健康を気遣う	7	33	40	**	19	17	44	80	0.868
	日常のお金の管理	3	46	31	**	13	23	42	78	0.134
	生命保険等の手続き	3	41	35	**	15	11	53	79	0.556
	市町村役場の手続き	1	49	28	**	14	15	49	78	1.000
家事役割	部屋の掃除をする	3	56	22	**	34	20	26	80	0.077
	食事を作る	3	51	27	**	24	23	34	81	1.000
	家の周りを掃除する	5	41	34	**	30	13	37	80	*
	日常の買い物をする	5	51	25	**	19	24	38	81	0.542
	トイレの掃除をする	2	58	20	**	32	6	42	80	**
	食事の後片付けをする	7	58	16	**	27	22	32	81	0.568
	洗濯の後片付けをする	2	62	17	**	26	19	36	81	0.371
	洗濯をする	1	59	21	**	24	18	39	81	0.440
	風呂の掃除をする	2	58	21	**	34	9	38	81	**
	布団を整える	4	57	20	**	25	13	43	81	0.074
	ゴミ出しをする	5	52	23	**	27	17	36	80	0.175
レクリエーション役割	余暇の計画を立てる	12	28	39	*	25	2	52	79	**
	余暇を過ごす	17	24	38	0.349	22	8	49	79	*
	余暇について話し合う	14	28	39	*	23	5	50	78	**
	一緒に買い物に行く	18	23	38	0.532	23	11	45	79	0.059
親族役割	近所付き合いをする	6	22	51	*	19	5	55	79	*
	親族付き合いをする	7	16	56	0.093	15	7	57	79	0.134
	両親付き合いをする	8	15	54	0.210	13	8	56	77	0.383
情緒的治療役割	家族との団らんをとる	14	33	33	*	19	8	53	80	0.054
	帰宅時間、予定を話し合う	14	36	30	*	19	6	55	80	*
	家族サービスをする	11	28	41	*	20	8	52	80	*
	夕食を一緒にとる	16	19	44	0.735	15	5	60	80	*
	心配事や悩み事を話し合う	10	28	41	*	21	3	56	80	**
入院による役割	社会活動の連絡調整					5	4	68	77	1.000
	身の回りの世話をする					8	28	42	78	*
	職場に連絡調整をする					4	4	71	79	1.000
	いたわりの言葉をかける					15	22	41	78	0.324
	面会に来る					5	32	41	78	**
	入院による諸手続き					7	12	58	77	0.359
子供の社会化 (養育)	相談相手になる					12	15	51	78	0.700
	勉強を見る	3	11	18	0.057	7	4	20	31	0.549
	トイレ(オムツ)の手助けをする	2	7	23	0.180	5	3	23	31	0.727
	食事(授乳)をさせる	2	12	18	*	9	4	18	31	0.267
	P T A 活動に参加する	2	9	21	0.065	5	1	25	31	0.219
	お風呂(沐浴)に入れる	6	4	22	0.754	5	1	25	31	0.219
	学校行事に参加する	3	10	19	0.092	8	2	21	31	0.109
	学校へ行かせる	3	14	15	*	8	4	19	31	0.388
	子供の送迎をする	2	15	15	*	7	0	24	31	*
	進路相談の相手になる	1	11	20	*	9	1	21	31	*
	子供と遊ぶ	2	9	21	0.065	9	2	20	31	0.065
学校との連絡調整をする	1	18	13	**	10	1	20	31	*	

符号検定 *p<0.05 **p<0.001

5) 情緒的治療役割：5項目

入院前の遂行と期待では、家族との団欒を取る・帰宅時間や週予定を話し合う・家族サービスをする・心配事や悩み事を話し合う ($p < 0.05$) で正の有意差があった。期待と遂行の実際では、心配事や悩み事を話し合う ($p < 0.001$) 帰宅時時間や週予定を話し合う・家族サービスをする・夕食を一緒にとる ($p < 0.05$) で負の有意差があった。

6) 入院による役割：7項目

この役割は、入院後に新たにできた役割である。期待と遂行の実際では、身の回りの世話 ($p < 0.05$) 面会に来る ($p < 0.001$) で正の有意差があった。

7) 子供の社会化(養育)役割：11項目

入院前の遂行と期待では、食事をさせる・学校へ行かせる・子供の送迎をする・進路相談の相手になる ($p < 0.05$) 学校との連絡調整をする ($p < 0.001$) で正の有意差があった。期待と実際では、進路相談の相手になる・学校との連絡調整をする・子供の送迎をする ($p < 0.05$) で負の有意差があった。

V. 考察

扶養役割では、入院前は生活費を入れ、家計管理全般は妻に任せているという、夫婦の人間関係の3側面のうちの「権威(決定権)構造」同様の特徴を示していた。入院後は夫に対し家計の決定権と共に、多くの妻の役割であった管理も行って欲しいという結果を示したが、夫の役割遂行にはバラツキがあった。家事・子供の社会化(養育)役割は、世話をする・面倒を見る・看護する・気遣う・心配する・関心を持つなどのケア機能として女性の性別役割として位置付けられている²⁾。前研究では第2回全国家庭動向調査と同様に夫は妻に家事・育児の多くを任せているという結果を得た。入院後の夫の役割遂行はバラツキがあったが、項目により有意差があった。中央調査報³⁾による男女観・家庭観に関する意識調査で「男性の家事・育児参加が進まないのは妻が夫にやらせたがらないことに原因がある」「家事・育児は女性の仕事と考えている」という回答が男性より女性に多いという女性のあきらめムードが報告された。

また父親の育児参加に対する世論調査では、時間限定のものが多くという報告があった。この役割遂行は、ジェンダーバイアス・時間的制約等が多く影響していると考えられる。レクリエーション・情緒的治療役割では、入院前同様の役割遂行を期待している。女性入院患者は一緒に行動はできないが、共に話し合うこと、残された家族への配慮を期待している。親族関係役割は、家庭に身近な人間関係の多くを妻が担っているという現状を示していた。

夫の性別役割は、家の外における対人関係、家族を守るといった社会的・経済的役割がある。夫の対人関係は職場等に多く、身近な人間関係の役割遂行が少ないと考えられる。入院による役割では、自身の病気や家庭での自分が担ってきた役割調整等、夫をキーパーソンとし相談したいという女性入院患者の思いが感じられる。吉沢等²⁾は、夫とパートナーからの情緒的サポートは、病気によるうつ予防、結婚状態の維持、家族機能を拡大させる重要なサポートとなると述べている。この役割は、女性入院患者にとって夫は期待以上に役割を遂行できており、重要な役割を果たしているといえる。

今回の研究では、女性入院患者は夫に入院前以上の夫婦役割遂行を期待し、夫の役割遂行はほとんどの項目で、出来ている人もいれば出来ていない人もいるといったバラツキを示した。女性入院患者の夫を家族員の焦点とした役割葛藤は、夫の夫婦役割遂行を規定する要因に影響されることが示唆された。要因として、ジェンダーバイアス・家事育児に対する能力・必要性、人間関係、時間的制約等が考えられた。

VI. まとめ

1. 女性入院患者の夫に対する夫婦役割遂行の期待は高く、それに対し夫の役割遂行はバラツキを示した。
2. 女性入院患者の夫の役割遂行に対する葛藤は夫の夫婦役割遂行を規定する要因に影響されることが示唆された。

VII. 研究の限界

本研究は対象者数が少ないこと、地域性・属性といったデータに影響を及ぼす要因については分析していな

いため一般化するには限界がある。今後は本研究を基に、女性入院患者の夫に対する役割葛藤に影響を及ぼす要因の実態を明らかにしたい。

引用・参考文献

- 1) 高知県文化環境部生活女性課：男女共同参画社会に関する県民意識調査，
<http://www.pref.kochi.jp/seikatsu/plan/souron/souron0-1.htm>， 1999.
- 2) 吉沢豊予子、鈴木幸子：女性の看護学，メヂカルフレンド社，74，276，2001.
- 3) 社団法人中央調査社：男女観・家庭観に関する意識調査，<http://www.crs.or.jp/5171.htm>，2000. 11.
父親の育児参加に対する世論調査，<http://www.crs.or.jp/5262.htm>，2001. 8.
- 4) フリードマン，M. M. 著、野島佐由美訳：家族看護学—理論とアセスメント，へるす出版，1995.
- 5) 鈴木和子、渡辺裕子：家族看護学「第2版」，日本看護協会出版会，1999.
- 6) 江原由美子、山田正弘：ジェンダーの社会学，放送大学教育振興会，2001.
- 7) 仁尾倫子、和田郁子、式地ちづこ他：女性入院患者の夫に対する役割葛藤，看護研究学会集録，社団法人高知県看護協会，2001.

〔平成14年7月31日～8月1日，仙台市にて開催の第33回日本看護学会（母性看護）で発表〕